

4歳こども からの絵本

ストーリーやテーマを理解する力が高まりますが、ゆっくり高まる子どももいれば、急速に高まる子どももいます。また、絵本のジャンルの好き嫌いが現れています。背伸びすることなく、子どもの心に寄り添った絵本を。



しりとりの だいすきなおうさま

中村梅子／作 はたこうしろう／絵
講談社出版 1,404円

しりとりの大好きな王さまは、食事の時も食べ物がしりとりの順番にでてこないと気がすまない。おまけに最後はプリン。困った蒙来たちは…。親子のしりとり遊びに発展する絵本です。



めっさらもっさら どおん どん

長谷川桃子 作 ふりやなな 画
福音館書店 972円

ある日、遊ぶ仲間をさがしていた「かんだ」がめちゃくちゃ歌の呪文を唱えると、ひゅうっとあなのなかに…。遊ぼうよとやってきたのは、へんてこりんな3人組のおばけ。子どもならだれもが持つ冒険願望を、迫力ある絵と文で見事に実現させた絵本です。



おちゃのじかんに きたとら

作 ジュディス・カー 翻訳 稲垣耕平
重説新出版 1,512円

お茶の時間に来たとらに、家中の食べ物を食べられてしまったソフィー。夕飯はどうするの？鮮やかな色彩で描かれた、なんとも憎めない表情の礼儀正しい「とら」。うちにもとらが来るかもしれない……、そんな期待を抱かせてくれる一冊です。



はじめてのおつかい

鶴井桃子 さく 林明子 え
福音館書店 972円

近くのお店までひとりでおつかい。みいちゃんだけではなく、お願いたいしたお母さんなどて心配でドキドキなのですが、子どもはしっかり成長しているんですね。みんなが経験するはじめてのドキドキ。いろいろなことができるようになった、お手伝いに興味津々の年頃におすすめの一冊です。



ガラスめだまと きんのつのヤギ

田中かな子 著 スズキコージ 画
福音館書店 1,404円

誰も打ち負かすことができなかったガラスめだまときんのつのを持つヤギを最後に打ち負かしたものは？民話の世界がスズキコージさん特有の画風で再現されており、子どもたちは物語の中にどんどん引き込まれていきます。



もりのなか

マリー・ホール・エット ぶん／え
まさるりこ やく
福音館書店 1,080円

紙の帽子をかぶり新しいラッパをもったばくは、森に散歩に出かけます。森の中でライオン、ぞう、くま、カンガルーと会い、ラッパを鳴らして行進です。子どもの冒険心を満たしてくれる一冊です。「ばく」のお父さんを目標にするパパもいるようですよ。



これは のみの びこ

ページをめくるごとに文章が一行加わっていく積み上げ歌と和田誠さんの色彩豊かな絵が、子どもたちを惹きつけて止まない絵本です。この絵本をヒントに家族で積み上げ歌遊びなんて素敵ですよ。



てこちゃん

ちだかのぶこ さく・え
PHP研究所 1,188円

お母さんに髪を切ってもらったら、てこちゃんが「てこちゃん」に！かわいそうだけど、なつかしくて面白い、だれもが一度は経験している…そんな感じのお話です。お姉ちゃんのおまじないで、ほんわか元気になれますよ！



せんたく かあちゃん

さとうわざこ さく・え
稻吉書店 972円

なんでも洗濯してしまう、せんたくかあちゃん。落ちてきた雷まで洗っちゃいます。元気なかあちゃんの奇想天外な楽しい絵本。同じ作者の「ばばあちゃんシリーズ」もおすすめです。



からすのパンやさん

作・絵 かこさとし
龍成社 1,080円

からすのパンやさん一家がいろいろなパンをつくり、森中のからすが貰いに来ます。「にわとりパンがいい！」」「ひこうきパンがいい！」と、親子でわいわいおしゃべりしながら読んではほしい本です。続編もでています。



すてきな 三にんぐみ

トニー・アングラー 作・絵 今江祥智
龍成社 1,296円

黒いマントをきたこわい泥棒三人組。奪った馬車に乗っていたのは、みなしごのティファニーちゃん。お城にあつたお宝をみてティファニーちゃんが一言。意外な展開に！



おおきくなるっていうことは

中川ひろたか・文 村上康成・絵
宝文社 1,404円

パパ ママ ひとりくち エピソード

保育参観で、まもなく年長組になる子どもたちに、先生が読んでくれた絵本です。「それを伝えたかった」と思い購入。そのまま読みで親子で笑顔になれます。おおきくなるっていうことは」の後を子どもなりの成長に変えて読みと、とっても喜びます。今では、最後のページの「みんな」を子どもの名前に変えて、誕生日や進級のたびに読んであげています。

大きくなつて“できるようになった”喜びがいっぱい。子どもに話したいことを自然に温かい気持ちで伝えながら、成長と一緒に喜べる絵本です。

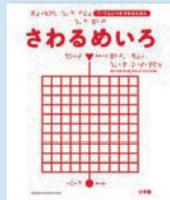




にぎりめし ごろごろ

和紙に描いた赤羽末吉の美しい色調と、ユーモラスな絵が昔話の世界へと導きます。「むかし、あつたけずおん。」方言の語り口調も魅力的です。

小林譲子／著 赤羽末吉／画
福音館書店 972円



さわるめいろ

線を指でなぞってゴールを目指そう！簡単なものから難しいものまであるよ！幾何学模様の色がとてもきれいな、点字付きさわる絵本です。広げると1枚の大判になるよ！

村山耕子 著
小学館 2,052円



ちいさな ヒッポ

ちいさなかばは、どんな時でも「ファオ！」とさけぶのよ。おかあさんのそばにいれば、怖いものなしのヒッポでしたが、ある日ひとりで出かけてしまい…。木版画の迫力ある絵です。



いいから いいから

長谷川龍史 作
絵本館 1,296円

どんなお客さんにも決して動じることのないおじいちゃん。人生の達人ぶりを堪能できます。ゆたかな笑顔がうまれる一冊です。シリーズ化されており、各巻のいろいろなお客さんにも驚かされます。



ピッツアぼうや

ワーリム・スタイル 作 木原透 翻
らんか社 1,620円

外は雨、ピートはごきげんななめです。「そうだピートでピッツアをつくったらたのしくなるかもしれないぞ」素敵なお父さんのアイディアで、すっかり笑顔に。まねっこも楽しそう。



ふゆめ がっしょうだん

長新太一文 宮成忠夫、茂木遼一写真
福音館書店 972円

ウサギさんがいたり、コアラ君がいたり…。身近にある木々の冬芽の顔のような表情にびっくりです。思わず外に出て冬芽を探してみたくなりますよ。長新太さんの文で、冬芽たちの春を待つ気持ちが鮮やかに表現されています。(写真絵本)

いいひとくち エピソード

二女が4歳頃に夢中になった絵本です。休みの日は、居間で読み聞かせをしたあとに近くの公園で散歩。冬芽を見つけては、一緒にセリフをつけて遊びました。父と娘の触れ合いを深めてくれた一冊です。もう高校生ですが、時々、「あの頃、よくお散歩したよね。」と言う娘の言葉にうるうるしてしまう父です。





バナナのはなし

伊沢尚子文
及川廣治絵
福音館書店 972円

バナナって冷やしたらおいしいかな？そんな疑問から広がるバナナの世界。バナナのことがよくわかる科学絵本です。絵本を開く前に、ちゃんとバナナの準備はできたかな？



たまごのはなし

ダイアナ・アストン文
シルビア・ロング絵
千葉出版 訳
ほるる出版 1,620円

リアルな絵もわかるようになってくる年ごろ。いろいろな生きもののたまごにまつわる絵と話が楽しいです。美しいたまごの絵を指差しながら、親子で会話を弾みます。



キャベツくん

星野太文・絵
文研出版 1,404円

キャベツくんがおなかのすいたブタヤマさんに会いました。キャベツくんは食べられないようにはピカやゴリラに変身。空いっぱいに広がるクジラのキャベツ。絵を見ているだけでも楽しいですよ。



くんちゃんの はじめてのがっこう

ドロシー・マリノ著
さく まさきるりこ 絵
ペンギン社 1,026円

初めて学校に行った、くまのくんちゃんのうれしさと不安の入り混じった一日を描きます。優しい先生との出会いで、学校が大好きになったくんちゃんです。入学前の子どもにおすすめの一冊です。



ゆらゆら チンアナゴ

横田利己人 写真 江口整理文
ほるる出版 1,404円

水族館の人気者！砂の中に半分隠れているチンアナゴ。チンアナゴは魚？ミミズ？へび？などを食べているのかな？不思議なチンアナゴのことが、よくわかる写真絵本です。



こんとあき

林昭子作
福音館書店 1,404円

あきのおばあちゃんが作ってくれたぬいぐるみ「こん」。ほっこりを直してもらおうと、こんとあきの旅がはじまります！！ドキドキ・ハラハラ。でも、ほっこりする絵本です。

パパ ママ ひとつくち エピソード

夫の仕事の都合で引っ越す際、知人から娘にとていただいた絵本です。すごく気に入ったようで、毎日読んでいました。そんなに気に入つたのならばと、家族旅行は鳥取砂丘へ。絵本に出てくる犬が、こんを埋めた場所をみつけ、はしゃぐ娘の姿は忘れられません。こんなに良い思い出を作ってくれたママの絵本と、プレゼントしてくれた知人に感謝です！